

別紙第4号の2の2書式

第一片

領収済通知書  
※取扱庁名

告 労働保険  
※取扱庁番号

国庫金

(記入例)

¥ 0 1 2 3 4 5 6 7 8 9

◎数字は記入例にならって黒のボールペンで力を入れて枠からはみださないように記入して下さい。

労働保険特別会計 厚生労働省 管 年度

◎この書面は、機械処理されますので、汚したり折り曲げたりしないで下さい。

◎納付していただく際は第3片裏面の注意事項をよくお読み下さい。

労働保険番号	都道府県	所管	管轄	基	幹	番	号	枝	番	号	※CD	※証券受領
												全部 一部

※会計年度(元号:令和は9) 元号 年度 (項2)

※徴定年度(元号:令和は9) 元号 年度 (項3)

※収納年月日(元号:令和は9) 元号 年 月 日 (項4)

納入告知書発行年月日 令和 年 月 日

※収納区分 (項5)

※収納機関 (項6)

※認決区分 (項7)

※徴定 (項8)

※データ指示コード (項13)

※内証券受領 円

納付期限 令和 年 月 日

延滞金の計算方法

労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、附則第12条

石綿による健康被害の救済に関する法律第38条

あて先 所在地 所属庁名及び歳入徴収官

(住所) 〒

(氏名)

徴収勘定	(款)(項)	(目)	十億	千	百	十	万	千	百	十	円	(項9)
一般提出金収入		一般提出金収入										
雑収入		追徴金										(項10)
		延滞金										(項11)
納付額(合計額)												(項12)

納付の場所 日本銀行(本店・支店・代理店又は歳入代理店)、所轄都道府県労働局、所轄労働基準監督署

上記の合計額を領収しました。

領収日付印

納付の目的 年度一般提出金、追徴金、延滞金

翌年度5月1日以降 現年度歳入組入

(官庁送付分)

領 収 控

※取扱庁名

\_\_\_\_\_

告 労働保険

※取扱庁番号

\_\_\_\_\_

国庫金

労働保険特別会計

厚生労働省  
所 管

※ \_\_\_\_\_ 年度

労働 保険 番号	都道府県	所管 管 轄	基 幹 番 号	枝 番 号

※CD

\_\_\_\_\_

※証券受領

全部 一部

※会計年度(元号:令和は9)

元号 \_\_\_\_\_ 年度 \_\_\_\_\_

※徴定年度(元号:令和は9)

元号 \_\_\_\_\_ 年度 \_\_\_\_\_

納入告知書発行年月日

令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

※収納区分

\_\_\_\_\_

※認決  
区分

\_\_\_\_\_

※内証券受領

\_\_\_\_\_ 円

徴収勘定		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
(款)(項)	(目)										
一般 拠出 金 収入	一般 拠出 金 収入										
雑 収 入	追徴金										
	延滞金										
納付額 (合計額)		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円

納付期限  
令和 \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

(住所) 〒

延滞金の計算方法

労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、  
附則第12条  
石綿による健康被害の救済に関する法律第38条

(氏名)

殿

納付の目的  
年度一般拠出金、追徴金、  
延滞金

翌年度5月1日以降  
現年度歳入組入

上記の合計額を領収しました。  
領収日付印

(収納機関用)

納入告知書・領収証書

※取扱庁名

※取扱庁番号

労働保険

国庫金

労働保険特別会計  厚生労働省  所管  ※  年度

労働 保険 番号	都道府県	所管	管轄	基幹	番号	枝	番号
<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

※CD

※証券受領

全部

一部

※会計年度(元号:令和は9) ※徴定年度(元号:令和は9)

元号  年度

元号  年度

※認決  
区分

右のとおり納付して下さい。

※収納区分

※内証券受領

円

納付期限  
令和 年 月 日

(住所) 〒

労働局労働保険特別会計  
歳入徴収官

(氏名)

徴収勘定		十	億	千	百	十	万	千	百	十	円
(款)(項)	(目)										
一般 提出 金 収入	一般 提出金 収入										
雑 収 入	追徴金										
	延滞金										
納付額 (合計額)											

納付の場所  
日本銀行(本店、支店・代理店又は  
歳入代理店)、所轄都道府県労働局、  
所轄労働基準監督署

上記の合計額を領収しました。

領収日付印

殿

納付の目的  
年度一般提出金、追徴金、  
延滞金

延滞金の計算方法 労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、附則第12条  
石綿による健康被害の救済に関する法律第38条

翌年度5月1日以降  
現年度歳入組入

(納付者渡し)

注意事項

- 1 ※印のついた欄は記載しないで下さい。
- 2 納付額を記入するときは、必ずその前に「¥」記号を付して下さい。
- 3 延滞金は、一般拠出金が1,000円以上の場合において、督促状の送付を受け、その指定期限までに完納されなかったときは、納付を要します  
 延滞金の額は、労働保険の保険料の徴収等に関する法律第28条、同法附則第12条及び石綿による健康被害の救済に関する法律第38条の計算方法(元本金額×延滞金利率×納期限の翌日から納付日の前日までの日数÷365)により計算して、その額及び合計額を該当欄に記入して納付して下さい。
- 4 延滞金を支払わなければならない場合において領収した金額が一般拠出金、追徴金及び支払われるべき延滞金の合計額に不足するときは、領収した金額を一般拠出金、追徴金及び延滞金の順に充当します。
- 5 この納入告知書は、3枚1組の複写式となっていますから、3枚とも納付の場所に提出して下さい。

備考

- 1 用紙の寸法は、各片ともおおむね縦11cm、横21cmとする。
- 2 各片は、左端をのり付けその他の方法により接続するものとする。
- 3 別紙第4号書式の備考4、14及び15は本書式に準用する。この場合において、別紙第4号書式の備考4中「取扱庁名欄の番号」とあるのは「取扱庁番号欄」と読み替えるものとする。
- 4 住所氏名欄は、左端から4.3cm、上端から5.5cmの部分に縦4.7cm、横8cmの大きさに設けること。
- 5 納入者に本書式に係る納付情報により納付させようとするときは、当該納付に必要な事項を記載すること。
- 6 必要があるときは、各欄の配置を著しく変更することなく所要の調整を加えることができる。